

平成30年度

熊本県立八代中学校

シラバス（第2学年）



目 次

国語	2
社会	4
数学	6
理科	8
音楽	10
美術	11
保健体育	12
技術分野	14
家庭分野	16
英語	18

平成30年度 八代中学校シラバス

教科	国語	科目	国語	学年	2	類型	
単位数	4	教科書	東京書籍 新編新しい国語2				
副教材	増補版国語便覧熊本県版、基礎の学習2、常用漢字ダブルクリア、中2徹底演習テキスト国語						

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 ・思考力や創造力を養い言語感覚を豊かにする。 ・国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価			
			A	B	C	
1 学期	未来へ メッセージをどう聞か 短歌を楽しむ 短歌のリズムで表現しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな表現に注意して詩の意味を捉え、工夫して音読する。 ・キーワードの意味に注意して、筆者の考えを捉える。 ・情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。 ・短歌の表現の工夫などを捉えて、鑑賞したことをまとめる。 ・自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作る。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	方言と共通語 敬語 字のない葉書	<ul style="list-style-type: none"> ・方言と共通語の役割について理解する。 ・敬語の種類や使い方について理解する。 ・登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して、作品を読み味わう。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	卒業ホームラン 問題意識を持って聞こう 形の似た漢字 鯉節—世界に誇る伝統食	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。 ・問題意識を持って相手の話を聞き、自分の考えと比較する。 ・形の似た漢字に注意する。 ・文章全体と部分との関係や、筆者の書き方の工夫に注意して、内容を読みとる。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	要約する	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の物の見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ。 ・要約の仕方のポイントを理解し、文章全体と部分との関係に注意して的確に要約する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	テーマを立てて説明する 調べて考えたことを伝えよう— 「食文化」のレポート	<ul style="list-style-type: none"> ・調査して報告するために、ふさわしいテーマを立てる。 ・普段の生活やメディアなどで見聞きすることからテーマを決めて、調査する。 ・調べて分かった事実や自分の考えが明確に伝わるように、構成を工夫してレポートを書く。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	用言の活用 漢字の意味 小さな労働者	<ul style="list-style-type: none"> ・用言の活用形の種類や、活用の仕方について理解する。 ・漢字の意味を理解し、漢字を使いこなす。 ・本を読み、その魅力について自分の考えをまとめる。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2 学期	哲学的思考のすすめ	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えなどについて、知識や体験と関連づけて自分の考えを持つ。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		論証の組み立てを捉える 反対意見を想定して書こう—意 見文 説得力のある提案をしよう—プ レゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・論証の組み立てを捉え、説得力があるかどうかを吟味する。 ・自分の立場を明確にして、分かりやすい構成で意見文を書く。 ・聞き手の立場や考えを想定して、説得力のある話を組み立てる。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		助詞	<ul style="list-style-type: none"> ・助詞の種類や働きについて理解する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		同訓異字 落葉松	<ul style="list-style-type: none"> ・同訓異字を理解し、適切に使い分ける。 ・詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	枕草子・徒然草 平家物語 漢詩 敬語 依頼状やお礼状を書こう 話し言葉と書き言葉 助動詞 走れメロス 人物像を捉える 類義語・対義語 歴史の物差し―水月湖の年 縞	・筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉える。 ・状況や心情を読み取り、武士の価値観や生き方について考える。 ・表現の特徴に注意して朗読し、漢詩を味わう。 ・尊敬語・謙譲語・丁寧語を使い分ける。 ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方などに注意して推敲する。 ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 ・助動詞の種類や意味について理解する。 ・人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み深める。 ・人物の言動の意味に注意して、人物像を捉える。 ・類義語や対義語について理解する。 ・複数の情報源から情報を得て、比べながら自分の考えをまとめる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	「正しい」言葉は信じられるか タウン誌の記事を推敲しよう 反論する 話し合いで問題を検討しよう― リンクマップによる話し合い 想像を誘うように表現する いきいきと描き出そう 同音異義語 わたしが一番きれいだったとき 坊っちゃん	・事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いについて考える。 ・構成や表現の効果について考えて、文章を推敲する。 ・議論の問題点を捉えたり、的確な反論を考えたりする。 ・さまざまなメディアを使って討論のテーマを決め、メリットとデメリットを出し合う。 ・描き方を工夫して、想像を誘う表現をする。 ・情景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。 ・同音異義語を使い分ける。 ・心情が読み取れる言葉に注意して詩を読む。 ・文学作品を読み、登場人物の考え方や人柄などについて考える。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	<p>【授業の進め方やポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書をよく読んで内容の理解に努める。 ○音読に積極的に取り組む。 ○授業ノートはただ板書を写すだけではなく、疑問や考えなどを積極的に記入する。 ○配られたプリントはフラットファイルに綴じ、整理すると共に自分の考えを記入する。 ○文章の内容を自分の問題として考え、自分の意見や考えを持つようにする。自分の考えを述べる発言で表現力を伸ばす。 ○感想や疑問をしっかりと出し合い、他者の発言に耳を傾ける。そして、自分との共通点や相違点を理解し、考えを深める。 <p>【家庭学習の進め方やポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新しい単元の前に、新出漢字と語句の確認をする。（「基礎の学習2」の利用、辞書の活用） ○授業の後は授業ノートやプリントを見直すなどの復習をする。（「基礎の学習2」の活用） ○出された課題や宿題は必ずする。 ○漢字テストで満点が取れるように、毎日の漢字練習を続ける。 ○習った漢字や語句は何度も練習し、定着させる。 ○自分の使える言葉や漢字を増やすために、ふだんから沢山の文章（新聞等）を読み、分からない言葉や漢字は調べる習慣を身につける。辞書を引くことをおっくうに考えないようにする。
------	---

評価方法	<p>【国語への関心・意欲・態度】 授業中の様子、漢字テスト、課題の提出状況、定期テスト、発表</p> <p>【聞く・話す能力】 定期テスト、小テスト、授業時の課題の状況など</p> <p>【書く能力】 定期テスト、小テスト、授業時の課題の状況など</p> <p>【読む能力】 定期テスト小テスト、授業時の課題の状況など</p> <p>【言語事項】 定期テスト、漢字テスト、小テスト、書写作品など</p>
------	---

平成30年度 八代中学校シラバス

教科	社会	科目	社会	学年	2	類型	
単位数	3単位	教科書	中学社会 歴史(教育出版) 中学生の地理(帝国書院) 中学校社会科地図(帝国書院)				
副教材	新訂資料カラー歴史(浜島書店) 社会の自主学習 歴史2・3(新学社) ウィニング歴史Ⅱ 社会の自主学習 地理日本(新学社) ウィニング地理Ⅱ						

学習目標	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	【歴史的分野】 第4章 近世の日本と世界 【地理的分野】 第2編 日本のさまざまな地域 【地理的分野】 第1章 日本の地域構成 第2章 世界から見た日本のすがた 【歴史的分野】 第5章 近代の幕開け	4 経済の成長と幕政の改革 1 近代世界の確立とアジア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	【歴史的分野】 第5章 近代の幕開け 【地理的分野】 第3章 日本の諸地域 【歴史的分野】 第6章 近代の日本と世界 【地理的分野】 第3章 日本の諸地域	2 開国と幕府政治の終わり 1 九州地方 2 中国・四国地方 3 近畿地方 4 中部地方 1 明治維新と立憲国家への歩み 2 激動する東アジアと日清・日露戦争 5 関東地方 6 東北地方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	【歴史的分野】 第6章 近代の日本と世界 【地理的分野】 第3章 日本の諸地域 第4章 身近な地域の調査	3 近代の産業と文化の発展 7 北海道地方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	【歴史的分野】 第6章 近代の日本と世界 【地理的分野】 第3章 日本の諸地域 第4章 身近な地域の調査	3 近代の産業と文化の発展 7 北海道地方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	日頃から新聞やニュースを見ておいてください。授業はプリントを中心に授業を進めていきます。ノートに貼って整理してください。板書を移すだけでなくノートに自分の考えや他人の考えなどを書き留めてください。副教材の問題集を週末の宿題として出します。
------	---

評価方法	<p>①関心・意欲・態度…学習内容を理解しようと積極的に学習に取り組んでいる。話し合いなどで積極的に意見を出したり他人の話に耳を傾けたりしている。</p> <p>②思考・判断・表現…教科書の記述やグラフ、図など様々な資料を適切に収集し、活用して事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現することができる。</p> <p>③資料活用の技能…年表や歴史、地図など様々な資料を収集し、必要な情報を適切に選択し活用することができる。</p> <p>④知識・理解…学習した内容の基礎的・基本的な事項を身に付けることができる。</p> <p>以上4つの観点について、日頃の授業やノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。</p>
------	---

教科	数学	科目	数学	学年	2	類型	
単位数	4	教科書	数研出版 改訂版 中学校 数学2 数研出版 改訂版 中学校 数学3				
副教材	数研出版 体系数学2 代数編 数研出版 体系問題集 数学2 代数編 標準 数研出版 体系数学2 幾何編 数研出版 体系問題集 数学2 幾何編 標準						

学習目標	<p>年間を通して、以下の能力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一次関数を理解し、関数関係を見だし考察し表現する能力 ○平面図形の性質について活動を通して理解を深め、性質を論理的に考察し表現する能力 ○不確定な事象を調べ、確率や標本調査について理解し用いる能力 ○式の展開や、因数分解について理解し用いる能力 ○二次方程式を理解し活用する能力 ○既習の数学を基にして、数や図形の性質を見だし活用する能力 ○将来の八代高校生として、大学入試に対応できる能力 (→応用問題で扱う)
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	【体系数学2 代数編】	<ul style="list-style-type: none"> ○多項式と単項式の乗除について理解する。 ○乗法公式を用いて、一次式の積の展開ができるようにする。 ○数の素因数分解の意味と多項式を因数分解することの意味を理解し、因数分解ができるようにする。 ○新しい数の必要性和意味を理解し、概念をひろめる。 ○数の平方根の意味を理解し、電卓などを用いてその近似値を求めることができるようにする。 ○数の平方根の中には、限りなく続く小数でしか表せない数があることを知り、理解を深める。 ○2次方程式の必要性和その解の意味を理解する。 ○因数分解や解の公式を用いて2次方程式を解くことができるようにする。 ○2次方程式を問題解決に利用することができるようにする。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第1章 式の計算		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 多項式の計算		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 因数分解		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 式の計算の利用		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第2章 平方根		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 平方根		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 根号を含む式の計算		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 有理数と無理数		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第3章 2次方程式		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1 2次方程式の解き方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
2 2次方程式の応用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
2 学期	第4章 関数 $y=ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> ○自然現象の中には、関数 $y=ax^2$ としてとらえられるものがあることを知る。 ○関数 $y=ax^2$ について、そのグラフの特徴を理解する。 ○関数 $y=ax^2$ のとる値の変化の割合を調べ、1次関数との違いを明らかにする。 ○身のまわりに、関数 $y=ax^2$ と関わりの深い事象があることを知る。 ○表や樹形図、計算を利用して、起こりうる場合の数を求めることができるようにする。 ○起こりうる場合や起こらない確率を求めることができるようにする。 ○標本調査の必要性和意味を理解し、簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明することができるようにする。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 関数 $y=ax^2$		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 関数 $y=ax^2$ のグラフ		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 関数 $y=ax^2$ の値の変化		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4 関数 $y=ax^2$ の応用		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5 いろいろな関数		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第5章 確率と標本調査		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 場合の数		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 確率の計算		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 標本調査		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	【体系数学2 幾何編】		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第1章 図形と相似		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 相似な図形		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 三角形の相似条件		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 平行線と線分の比		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 中点連結定理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
5 相似な図形の面積比、体積比	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

3 学 期	第2章 線分の比と計量	<p>○三角形の重心に関する性質を理解する。 ○定理を利用して線分や面積比を求めることができるようにする。 ○チェバの定理、メネラウスの定理を理解する。</p> <p>○三角形の外心と垂心に関する性質を理解する。 ○定理を利用して円周角に関する角度を求めることができるようにする。 ○円に内接する四角形に関する性質を理解する。 ○円の接線に関する性質を理解する。 ○定理を利用して、円に関する角度を求めることができるようにする。 ○方べきの定理の意味を理解する。 ○2つの円に関する性質を理解する。</p> <p>○直角三角形の3辺の関係を具体的な観察や操作を通して調べ、三平方の定理を見いだす。 ○三平方の定理が証明できることを理解する。 ○三平方の定理の意味を理解する。 ○三平方の定理をいろいろな場面で活用しようとする態度を育て、活用できる。</p>	□ □ □
	1 三角形の重心		□ □ □
	2 線分比と面積比		□ □ □
	3 チェバの定理		□ □ □
	4 メネラウスの定理		□ □ □
	第3章 円		□ □ □
	1 外心と垂心		□ □ □
	2 円周角		□ □ □
	3 円に内接する四角形		□ □ □
	4 円の接線		□ □ □
	5 接線と弦のつくる角		□ □ □
	6 方べきの定理		□ □ □
	7 2つの円		□ □ □
	第4章 三平方の定理		□ □ □
1 三平方の定理	□ □ □		
2 三平方の定理と平面図形	□ □ □		
3 三平方の定理と空間図形	□ □ □		

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	まず予習として、練習や例題を解いて授業に臨みます。授業では、内容を理解することを重視し、ただ板書を写すことにならないよう気をつけます。具体的には、予習で理解が十分でなかったところや別解などをノートの余白部分に書きます。復習として毎日担当者から課される日々の演習を行います。また、週末には課題を解きます。加えて、定期考査以外にも小テストを行って、到達状況を確認します。
------	---

評価方法	【関心・意欲・態度】【見方考え方】【数学的な技能】【知識・理解】の4つ観点について評価を行う。中間テスト・期末テスト・実力テスト・単元テスト・提出物・出席状況・日頃の授業態度などで、総合的に評価を行う。
------	---

教科	理科	科目	理科	学年	2	類型	
単位数	4単位	教科書	未来へひろがるサイエンス2 (啓林館)				
副教材	県版 理科問題集 (暁) 理科 W プリント (新学社) 理科 理科ノート (新学社) 理科資料集 (暁) ウイニング						

学習目標	<p>科学に対する認識を高め、自らより深く調べようとする基礎を身につける。</p> <p>自然の事物・事象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・事象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。</p>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達目標評価 A B C
1 学 期	【単元1】 化学変化と原子・分子	1 化学変化についての観察、実験を行い、実験技能を習得するとともに、レポートを作成することで、観察・実験の結果を分析して解釈し、わかりやすく表現することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	1章 物質の成り立ち	2 物質の変化やその量的な関係について理解させ、原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2章 物質を表す記号	3 物質を原子の記号や化学式で表し、化学変化を化学反応式で表すことができるようになる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	3章 さまざまな化学変化	4 分解や化合、酸化や還元などの基本的な化学変化の学習を通じて、化学変化の不思議さや面白さを実感する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	4章 化学変化と物質の質量	5 化学変化において質量が保存されること、互いに反応する物質の質量の間には一定の関係があることなどを見いだすことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	学習のまとめ	6 化学変化によって熱が入り出すことを理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学 期	【単元2】 地球の大気と天気の変化	1 天気の変化が主として大気中の水の状態変化と大気の動きによって引き起こされていることを理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2章 天気の変化と大気の動き	2 身近な気象現象の観察や観測を継続的に行うことを通して、天気の変化の規則性を見いだすことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	3章 大気の動きと日本の四季 学習のまとめ	3 日本の気象の特徴を日本周辺の気団や大気の動き、海洋の影響とを関連付けた見方や考え方ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	【単元3】 動物の生活と生物の進化	1 生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだす。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1章 生物の体と細胞	2 消化、呼吸及び血液循環や刺激に対する反応について、動物の体のつくりと働きとを関連付けて理解するとともに、その働きによって、動物の生命活動が維持していることを実感する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
2章			

	生命を維持するはたらき 3章 感覚と運動のしくみ 4章 動物のなかま 5章 生物の移り変わりと進化 学習のまとめ	3 脊椎動物の体のつくりや子の生まれ方などの特徴を比較・整理し、脊椎動物が幾つかの仲間に分類できることを見いだす。 4 無脊椎動物の観察などを行い、それらの動物の特徴を見いだす。 5 現存の生物及び化石の比較などを基に、現存の生物は過去の生物が変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連付けてとらえることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	【単元4】 電流の性質とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界 学習のまとめ	1 回路の電流や電圧を測定する実験を行い、回路の各点を流れる電流や各部に加わる電圧についての規則性を見いだすことができる。 2 実験・観察を通して、電圧と電流の関係をグラフ化し、その規則性を見いだすとともに、金属線には電気抵抗があることを理解する。 3 電流から熱や光などが取り出せることを実感し、電力の違いによって発生する熱や光などの量に違いがあることを見いだす。 4 帯電した物体間では空間を隔てて力が働くこと及び静電気と電流は関係があることを見いだす。 5 実験・観察を通して、電流のまわりに磁界ができることや磁界中のコイルに電流を流すと力が働くことを見いだす。 6 実験・観察を通して、コイルや磁石を動かすことにより電流が得られることを見いだすとともに、直流と交流の違いを理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	授業は観察や実験を中心に授業を進めていきます。板書を移すだけでなくノートに自分の考えや他人の考えなどを書き留めてください。授業終了後、副教材の問題集を使ってしっかり復習しておきましょう。
------	---

評価方法	①関心・意欲・態度…学習内容を理解しようと積極的に学習に取り組んでいる。話し合いなどで積極的に意見を出したり他人の話に耳を傾けたりしている。 提出物を忘れずに提出することができている。 ②思考・表現…教科書の記述やグラフ、図など様々な資料を適切に収集し、活用して事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現することができる。 ③技能…教科書に書かれた実験手順を基に実験を行うことができている。正しく実験器具を使用することができている。 ④知識・理解…学習した内容の基礎的・基本的な事項を身に付けることができる。 以上4つの観点について、日頃の授業やノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。
------	--

平成30年度 八代中学校シラバス

教科	音楽	科目	音楽	学年	2	類型	
単位数	1単位	教科書	中学生の音楽2・3上 中学生の器楽（教育芸術社）				
副教材	県版 音楽ノート						

学習目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学 期	曲想を生かして、 表現を工夫しよう ○「翼をください」 ○◎「Sant Lucia」 ◇アルトリコーダー-LESSON 2 ◇●「トーンチャイム」 曲の構成を理解して、 曲想を味わおう ◎「交響曲第5番 運命」	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う ・諸外国の音楽の特徴を味わい、根拠をもって批評する ・楽器（トーンチャイム）の特徴と基礎的な奏法 ・音名（イタリア語・日本語・英語）と反復記号 ・表現したいイメージを持ち、音色にふさわしい表現を工夫した演奏と旋律の創作 ・オーケストラについて ・曲の構成と曲想とのかかわりを理解し、そのよさや美しさを根拠をもって批評する 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう ○「校歌」 ○「合唱コンクール自由曲」 舞台芸術の特徴を理解して、 その魅力を味わおう ◎オペラ・バレエ・ミュージカル 響きの美しさを味わおう ◎「フーガ ト短調」 ◇アルトリコーダー-LESSON 3	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間いっしょに校歌「道」の混声二部合唱を作り上げる ・歌詞の内容や曲想への関心とパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解して曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに合唱する。 ・舞台芸術の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解し、よさや美しさを根拠をもって批評する。 ・パイプオルガンの響きから、声部の多声的な重なり方や多声音楽のおもしろさを味わう。 ・変化記号（#・b）の運指を理解し、演奏に生かす。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	◇「カントリーロード」 卒業式に向けて ○大切なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい表現を工夫して合奏する。 ・曲想や魅力を生かして、卒業式に向け表現を工夫しながら合唱する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	表現領域（「歌唱」、「器楽」、「創作」の三分野）、鑑賞領域で学習を進めていきます。実技を伴う授業です。真剣にそして積極的に取り組みましょう。また授業を通して音楽に限らず、文化というものまで学習していきます。自分の財産となる素晴らしい作品に出会う時間にしてください。
------	--

評価方法	【音楽への関心・意欲・態度】【音楽表現の創意工夫】【音楽表現の技能】【鑑賞の能力】の4つの観点について評価します。日頃の授業や実技テスト、ノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価します。
------	--

教科	美術	科目	美術	学年	2	類型	全
単位数	1単位	教科書	美術2・3上 学びの深まり (日本文教出版)				
副教材	美術資料						

学習目標	<p>○主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。</p> <p>○対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。</p> <p>○自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</p>
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	<p>学びを深める 「伝え合う」かたち</p> <p>心でとらえたイメージ</p> <p>受け継ぎ作る人の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作家の作品を通して、作者の意図と工夫を思い描く。 ・グラフィックデザインの魅力や意義を考え、生活の中で役立つピクトグラムを構想し制作する。 ・感情や季節、音などのイメージを自分独自の発想や方法で表現する。 ・伝統工芸の多様性や独自性に対する理解を深める。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	<p>新鮮な視点でとらえよう</p> <p>生活を彩るデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの見方や感じ方を深め、新鮮な視点で対象の形や色彩の特徴をとらえて自分らしく表現するなどしてスケッチに親しむ。 ・生活を豊かにするデザインの多様性に気づき、そのよさや美しさを生かして表現する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	<p>転がる水 デザイン 「伝える」をつくる</p> <p>墨が生み出す豊かな世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのユニバーサルデザインを知り、その考えから学んだことを自分の提案に生かす。 ・伝えたいことや主張したい内容の表し方を工夫して、効果的に伝えるための材料や用具、形、色などを考え、ポスターで表現する。 ・日本や中国の水墨画を理解し、その美しさやよさを味わおう。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

学習方法	<p>○作品制作では、習得した知識や技能を使い効果的に生かしてください。また、自分の純粋な発想を大切に、計画的に制作を進め見通しを持って取り組んでください。</p> <p>○鑑賞では、作者の思いや意図・工夫点を感じ取り、さまざまな価値観に気づき得る寛容さを養いましょう。さらには、自らの作品作りへと生かし、発展させていきましょう。</p>
------	---

評価方法	<p>① 関心・意欲・態度 ②発想や構想の能力 ③創造的な技能 ④鑑賞の能力 の4つの観点より評価を行っていきます。題材によっては、2つの観点や3つの観点からのみ評価を行う場合もあります。</p>
------	--

平成30年度 八代中学校シラバス

教科	保健体育	科目	保健体育	学年	2	類型	
単位数	3	教科書	大修館書店				
副教材	ステップアップ中学体育 中学校保健体育ノート						

学習目標	健康や運動に関心を持ち、主体的に運動に親しむことができるようにするとともに、知識や技能を身につけ、基礎体力の向上及びたくましい精神を培う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達記評		
			A	B	C
1 学 期	体づくり運動	・自己の体に関心を持ち、自己の体力に応じた課題をもって運動を行い、体をほぐしたり、体力を高めたりすることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	陸上競技 (ハードル・走り幅跳び)	・記録の向上や競争の楽しさ、喜びを味わいながら、基本的な動き、効率の良い動きを身につける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	器械運動(跳び箱運動)	・開脚や閉脚とびなどの切り返し系や台上前転やスプリング系などの回転系の基本的な技を跳ぶことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健	・健康の保持増進のために、心身の健康に対する環境の影響について理解することができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	水泳	・足のけりを中心として進み、十分な伸びをとりながら長い距離を泳ぐことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	体づくり運動	・リズムやタイミングを合わせて、組体操やダンスができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	球技(ネット型)	・パスやスパイク、サーブなど基本技能となるボール操作やボールを持たない時の動作を身につけ、簡単なルールでラリーやゲームを楽しむ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	球技(ベースボール型)	・基本的なバット操作やボール操作、走塁による攻防ができるとともに、簡単なゲームを楽しむことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健	・傷害の発生要因について理解し、障害の防止及び応急処置について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	武道	・礼法を身につけ、相手の動きに応じた基本動作から基本となる技を用いて、打ったり受けたりする攻防を展開できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	陸上競技	・自己の能力に応じて、長い距離をより速くはしることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3 学 期	武道	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法を身につけ、相手の動きに応じた基本動作から基本となる技を用いて、打ったり受けたりする攻防を展開できる ・自己の能力に応じて、長い距離をより速くはしることができる ・傷害の発生要因について理解し、障害の防止及び応急処置について理解する。 ・運動やスポーツの効果や安全な行い方について理解することができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	陸上競技		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	保健		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	体育理論		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※A:十分に満足できる B:概ね満足できる C:努力を要する

学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ★実技の時間は、チャイムですぐに始めることができるように集合場所で整列して待ちましょう。 ★挨拶や返事は大きな声で行い、きびきびとした集団行動を心がけましょう。 ★学習シートはその日のうちに書いて提出し、各自めあてをもって授業に参加しましょう。 ★自分の体力に応じた課題を持ち、日頃から生活の中に運動を取り入れましょう。また、運動・スポーツに関する情報を収集し、興味・関心を高めましょう。 ★各種目の特性や技術、ルール等はステップアップ中学体育で調べ、予習して授業に臨みまし
------	---

評価方法	<p>【関心・意欲・態度】①活動状況観察 ②学習シート・レポート</p> <p>【思考・判断】①活動状況観察 ②学習シート・レポート ④学期末テスト</p> <p>【技能】①活動状況観察 ③実技テスト</p> <p>【知識・理解】②学習シート ④学期末テスト</p>
------	---

教科	技術・家庭	科目	技術	学年	2	類型	
単位数	2単位	教科書	新編新しい技術・家庭 技術分野 (東京書籍)				
副教材	熊本県版 技術・家庭学習ノート (新学社)						

学習目標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価			
			A	B	C	
1 学期	10月まで家庭科を学習する。					
2 学期	3編 生物育成に関する技術 第1章 生物を育てる技術の特徴 ③動物を育てる技術を知ろう ④水産生物を育てる技術を知ろう 第2章 生物を育てるための計画と管理 ①生物の育成計画を立てよう ②植物や環境を観察して育成しよう 第3章 生物育成に関する技術の評価・活用 ①生物育成に関する技術を未来に生かそう 学習のまとめ	1 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る。 2 生物の育成に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。 3 目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができること。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
3 学期	1編 材料と加工に関する技術 第1章 材料と加工法 ①材料と加工に関する技術について知ろう ②材料の特徴を知ろう ③材料に適した加工法を知ろう ④製作品を丈夫にする方法を知ろう	1 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えることができる。 2 材料の特徴と利用方法を知る。 3 材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用しようできる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			

<p>第2章 製作品の設計・制作</p> <p>①生活に役立つ製作品を構 想しよう</p> <p>②製作品の構想をまとめよ う</p> <p>製図</p> <p>③作業手順を考えて制作し よう</p> <p>基礎技術</p> <p>④完成した製作品を評価し よう</p> <p>第3章 材料と加工に関す る技術の評価・活用</p> <p>①材料と加工に関する技 術を未来に生かそう</p> <p>学習のまとめ</p>	<p>4 使用目的や使用条件に即した機能と構造について考 えることができる。</p> <p>5 構想の表示方法を知り、製作図を書くことができる。</p> <p>6 部品加工、組立て及び仕上げができること。</p>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>
--	--	--

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

<p>学習方法</p>	<p>副教材の技術ノートで要点をおさえながら授業を行っていきます。木の板を使って作品を制作してもらっているので提出を忘れないようにしてください。</p>
-------------	--

<p>評価方法</p>	<p>①生活や技術への関心・意欲・態度…よりよい社会を築くために、材料と加工に関する技術や生 を適切に評価し活用しようとしている。 生物育成に関する技術に関わる倫理観を身に付け、知的財 産を創造・活用しようとしている。</p> <p>②生活を工夫し創造する能力…よりよい社会を築くために、生物育成に関する技術を適切に評価 し活用している。</p> <p>③生活の技能…工具や機器を安全に使用できる。</p> <p>④知識・理解…材料の特徴と利用方法及び材料に適した加工法についての 知識を身に付け、材料と加工に関する技術と社会や環境とのかかわりに ついて理解している。</p> <p>以上4つの観点について、日頃の授業や技術ノート、課題などの学習状況及び定期考査の得点な どをもとにして総合的に評価する。</p>
-------------	--

教科	技術・家庭	科目	家庭	学年	2	類型	
単位数	2	教科書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して (東京書籍)				
副教材	熊本県版 技術・家庭学習ノート (家庭分野) (新学社)						

学習目標	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	2 編 私たちの衣生活と住生活 1 章 衣生活と自立 ○手入れの基礎技能	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。 ・衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができる。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。 (シャツの取り扱い表示を見てアイロンかけをします。) ・布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 章 生活を豊かにするために ○製作の基礎技能 (衣服)	<ul style="list-style-type: none"> ・製作に必要な時間等の見通しを持ち、目的に応じた縫い方や製作方法について理解する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	○製作の基礎技能 (小物)	<ul style="list-style-type: none"> ・手縫いやミシン縫いなどの基礎的・基本的な知識と技術を活用し、生活を豊かにするものを製作する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 編 私たちの食生活 3 章 調理と文化 ○地域の食材を生かした調理をしよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域または季節の食材を生かすなどの調理を通して、地域の食文化について理解する。 ・食生活に関心を持ち、課題を持って日常食または地域の食材を生かした調理などの活動について工夫し、計画を立てて実践できる。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	10月から 技術分野を学習します。				

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	<p>授業で身につけた知識や技術を日常生活のなかで生かし、日々の生活の改善・充実に努めるようにしましょう。</p> <p>各課題は基本的には学校内で行う。課題の提出については期限を守りましょう。</p> <p>実習に際しては、沈黙と集中をもって取り組み、安全にかつ協力して進めましょう。</p>
------	---

評価方法	<p>評価は次のような観点で、様々な角度から総合的に判断します。</p> <p>○生活や技術への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 (落ち着いた態度で参加し、よく聞き、よく発表しているか) ・宿題、提出物 (期限までに提出できたか)、ノート・プリント (確実に記入されているか) ・自己評価、総合評価 (正しく評価できたか) <p>○生活を工夫し創造する能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート・計画 (課題に着実に取り組み、工夫したレポート・計画になっているか) ・発表 (自分で考え、自分なりに考えた発表をしているか)
------	---

<ul style="list-style-type: none">・作品（自分なりに工夫した、生活に役立つ作品を制作することができたか）○生活の技術<ul style="list-style-type: none">・作品（製作に着実に取り組み、最後まで丁寧に仕上げたか）・実技テスト（課題を確実に達成できたか、上手に正しく道具が扱えるか）・発表（聞いている人にわかりやすい発表ができたか）○生活や技術についての知識・理解<ul style="list-style-type: none">・ペーパーテスト（身についておくべき知識が着実に定着しているか）・ワークシート（課題を解決することができたか）
--

平成30年度 八代中学校シラバス

教科	外国語	科目	英語	学年	2	類型	
単位数	4	教科書	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition2				
副教材	中学必修テキスト中学2年英語, 中学実力練成αスタンダード英語2年, トーク・アンド・トーク・ライト Book2, 速読英単語中学編						

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な物語や身近なことに関する文章を理解することができる。 ・ゆっくり話してもらえば、身近なことに関する話や指示を理解することができる。 ・身近なことについて簡単なやりとりをしたり、自分のことについて述べるすることができる。 ・自分のことについて簡単な文章を書くことができる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 1 Aloha! ・ Lesson 2 Peter Rabbit ・ Lesson 3 The Ogasawara Islands ・ Project①有名人を紹介しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去形 (一般動詞) の復習、過去形 (be 動詞) の肯定、疑問、否定、過去進行形、接続詞 when、未来を表す表現 (will, be going to) 、接続詞 that の習得。 ・ 好きな有名人のプロフィールを紹介するポスターを作り、描写や説明の方法、質問の仕方を学ぶ。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 4 Enjoy Sushi ・ Lesson 5 Uluru ・ Lesson 6 My Dream ・ Project②自分の夢を紹介しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ There is [are] ~ 、動名詞、動詞 (give など) + A + B 動詞 (look など) + A 、不定詞 (名詞用法, 副詞用法, 形容詞用法) の習得。 ・ 将来の夢や、将来やりたいことについてスピーチをする。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 7 Presentation ・ Lesson 8 India, My Country ・ Project③自分の町を紹介しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較級、最上級 (形容詞・副詞) 、as ~ as ...、受け身形 (肯定・by ...の文) の習得。 ・ 自分の町について紹介するため、英語で (返信の) メールを書くことができるようになる。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A : 十分に満足できる B : 概ね満足できる C : 努力を要する

学習方法	予習をして授業の精度を高めます。授業では、言語の理解・習熟・応用のバランスを考えて単元ごとに技能を高めます。復習として既習事項の徹底を図ります。また、小テスト/単元テストを実施してスモールステップを実践します。
------	---

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や課題などの学習状況及び Lesson ごと的小テストや定期考査などをもとにして総合的に評価する。 ・ パフォーマンステストでは、英語での表現能力を評価する。
------	--